

# いぐさ新品種「あさなぎ」について

中野善雄・大出春之・定平正吉

## 1 緒 言

暖地向きで分けつが多く、多収良質の品種育成を目標に本品種は育成された。網掛栽培の普及と品質良好なため、広島、岡山、福岡の各県で奨励品種に採用（その制度のない県においてはこれに準じ）、全国的に急速にその栽培面積が増加しており、現在の主力品種となっているので、育成経過及び特性の概要を報告する。

本品種の地域適応性検定の協力を得た関係県の農業試験場担当者並びに広島県内関係農業改良普及所普及員各位に厚く謝意を表す。

## 2 来歴及び育成経過

昭和25年12月農林省西条農事改良実験所瀬戸試験地（昭和26年より広島県立農業試験場東部支場と改称）において、熊本県八代郡千丁村在来種を供試し、栄養系分離法により選抜育成したもので、昭和26年畑苗床における系統選抜試験、昭和28年生産力検定予備試験、昭和29年生産力検定試験、昭和30年特性検定試験を行なって同年12月「瀬戸4号」の系統名が附された。その後昭和31年より36年まで系統比較試験を継続するとともに昭和32年～34年に関係県に苗を配布し地方適否を確かめ、また昭和36年、37年には広島県内主産地に試作し、成績優良と認められた。

昭和37年5月いぐさ農林2号に登録され、「あさなぎ」と命名された。広島県奨励品種には昭和39年3月に採用された。

育成経過の概要はつぎのとおりである。

年 次	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32			昭33		昭34		昭35	昭36		昭37
	系統 選抜	増殖	生検 予備	生検	特検	系統 比較	系統 比較	地方 適否	特検	系統 比較	地方 適否	系統 比較	地方 適否	系統 比較	系統 比較	地方 適否	地方 適否
供試系統数	432	38	38	6	2	5	5	2	32	5	2	4	2	3	1	1	1
選抜系統数	38	-	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
試験場所数	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	4	-	3	-	-	4	4

(注) 生検予備は生産力検定予備試験 生検は生産力検定試験 特検は特性検定試験  
地方適否は地方適否試験（県外、県内）

## 3 特 性

生育型は分けつ型に属し、伸長やや劣るが分けつは多い。瀬戸1号より「長い」の収量は多いがさざなみより劣る。中細種で色沢並びに粒揃が良好であり、着花が少なく品質優良である。

地域適応性は広く、寒地においても分けつ型品種としては伸長良好で収量が多い。九州地帯では茎が細くなり、紋枯病にも罹りやすい。しかし全国的に網掛栽培に適する品種である。

## 4 適地及び栽培上の注意

普通栽培では本州、四国に適するが網掛栽培では九州にも適する。品質が優れているので網掛栽培でその能力を十分発揮する。

湛水しても茎の太さの変動が少なく、排水不良地帯でも良質のものが得られるが、あまり低湿地は良くない。

分げつ型品種のため、浅植えすると伸長が劣るので注意を要する。元肥並びに早期に窒素を多用すると先枯れを誘発し、品質が不良となる。

## 5 試験成績

## (1) 生育、収量調査成績

品種名	年次	茎長 (cm)	1株当 茎数 (本)	収量 (kg/a)				長い重率 (%)	収量指数	
				乾茎重	長い重	中い重	短い重		乾茎重	長い重
あさなぎ	昭33	143	110	134.8	93.9	31.0	10.0	69.7	100	79
	34	141	103	130.1	88.1	31.6	10.4	67.7	98	94
	35	129	87	116.4	66.3	38.7	11.4	57.0	99	80
	36	130	91	122.9	70.3	44.4	8.1	57.2	97	90
	平均	136	98	126.1	79.7	36.4	10.0	62.9	99	90
瀬戸1号 (比較)	昭33	142	124	138.3	96.1	31.6	10.6	69.5	103	99
	34	138	105	129.5	84.4	33.5	11.6	65.2	97	90
	35	129	95	106.8	57.5	39.1	10.2	53.8	90	76
	36	128	93	117.6	60.2	48.2	9.4	51.2	93	77
	平均	134	104	123.1	74.6	38.1	10.4	59.9	96	86
さざなみ (比較)	昭33	150	105	134.2	96.8	27.3	10.0	72.1	100	100
	34	149	98	133.2	94.0	27.6	11.6	70.6	100	100
	35	140	81	118.1	75.4	33.7	9.0	63.8	100	100
	36	141	85	126.3	78.1	40.2	8.0	61.8	100	100
	平均	145	92	128.0	86.1	32.2	9.7	67.1	100	100

(注) 瀬戸1号、さざなみは比較品種

(2) 品質調査成績

品種名	年次	長い花序着生率 (%)	長い先枯歩合 (%)	茎の太さ (mm)		粒揃	色 沢	硬度 (%)	弾力 (%)	元白	欠株歩合 (%)
あさなぎ	昭33	2.6	7	1.69	中細	良	やや良	-	-	中	3.7
	34	1.2	25	1.58	細	中	やや良	88	57	中	
	35	0.7	13	1.70	中細	中	やや良	70	35	中	
	36	0.2	10	1.59	細	良	やや良	79	45	少	
	平均	1.2	14	1.64	中細	—	—	79	46	—	
瀬戸1号 (比較)	昭33	1.6	9	1.68	中細	良	中	-	-	中	5.2
	34	0.7	27	1.59	細	中	中	90	58	中	
	35	0.3	14	1.72	中太	良	良	76	40	中	
	36	0.2	9	1.57	細	良	中	74	37	少	
	平均	0.7	15	1.64	中細	—	—	80	45	—	
さざなみ (比較)	昭33	7.7	6	1.73	中太	良	やや良	-	-	中	0.4
	34	4.8	21	1.69	中細	中	やや良	89	56	中	
	35	4.4	11	1.84	中太	良	やや良	81	43	中	
	36	1.0	9	1.70	中細	中	やや良	82	47	少	
	平均	4.5	12	1.74	中太	—	—	84	49	—	

(3) 畳表の品質調査成績

品 種 名	年 次	品位	病害虫	枯いの混入	元白	硬軟	計	長い引通表製織長		a 当延製織長 (cm)
								2000本当 (cm)	1000g当 (cm)	
あ さ な ぎ	昭33	37	12	10	8	8	75	84.0	100.4	94.3
	34	41	13	11	7	7	79	96.0	110.2	97.1
	35	45	15	9	7	7	83	100.3	114.6	77.4
	36	42	15	10	8	7	82	94.0	103.5	72.7
	平均	41	14	10	8	7	80	93.6	107.2	85.4
瀬 戸 1 号 (比 較)	昭33	33	12	10	8	7	70	87.8	102.6	98.6
	34	40	13	11	7	7	78	96.4	108.1	91.2
	35	47	15	10	8	7	87	94.3	104.4	63.9
	36	40	15	9	8	7	89	90.0	100.8	60.6
	平均	40	14	10	8	7	81	92.1	104.0	78.6
さ ざ な み (比 較)	昭33	38	12	9	7	9	75	94.2	103.7	100.4
	34	40	13	10	7	7	77	106.4	107.6	101.1
	35	45	15	10	7	8	85	98.0	97.0	74.6
	36	40	15	10	8	7	80	104.0	100.3	78.3
	平均	41	14	10	7	8	79	100.7	102.2	88.6

(備考) 品質の完全なものを、品位50, 病害虫15, 枯い混入15, 元白10, 硬軟10, 計100とする。

(4) 特性検定試験成績

① 耐湛水性検定 (昭和32年) (1株当)

品 種 名	茎長 (cm)		対標 準比	茎 数 (本)		対標 準比	乾茎重 (g)		対標 準比	長い重 (g)		対標 準比
	湛水	標準		湛水	標準		湛水	標準		湛水	標準	
あさなぎ	135	141	96	110	125	88	40.4	40.3	100	24.5	26.3	93
瀬戸1号	137	143	96	93	147	63	38.0	56.5	67	24.1	35.0	69
さざなみ	137	147	93	135	138	98	59.6	53.9	111	36.4	34.7	105

  

品 種 名	長い重率 (%)		対標 準比	長い花序着生率 (%)		対標 準比	1 m 茎重 (g/100本)		対標 準比	茎の太さ (mm)		対標 準比
	湛水	標準		湛水	標準		湛水	標準		湛水	標準	
あさなぎ	60.7	65.3	93	0.0	2.0	-	39.8	32.3	123	1.76	1.64	107
瀬戸1号	63.6	61.9	103	0.2	2.9	7	42.0	36.6	115	1.82	1.65	110
さざなみ	61.2	64.3	95	0.9	13.2	7	48.8	43.8	111	1.88	1.77	106

② 網掛適応性検定 (昭和39年)

試 験 区			茎 長 (cm)	茎 数 (本)		収 量 (kg/a)		長い先 枯歩合 (%)	
				60cm 以上	105cm 以上	乾 茎 重	長い重		
網 掛	標準肥	あさなぎ	140	114	59	143.6	89.8	0.0	5.4
		さざなみ	148	99	56	141.9	96.7	0.3	7.4
	25%増肥	あさなぎ	139	121	63	146.0	92.9	0.0	6.4
		さざなみ	147	102	57	144.5	98.8	0.6	8.4
	50%増肥	あさなぎ	138	116	63	144.7	94.3	0.1	9.0
		さざなみ	145	102	58	140.4	95.3	0.6	7.9
無 網 掛	標準肥	あさなぎ	135	104	53	137.0	83.5	0.1	6.8
		さざなみ	143	94	52	137.6	90.9	0.4	9.0
	25%増肥	あさなぎ	136	110	57	135.1	85.0	0.1	6.6
		さざなみ	144	94	54	137.8	91.7	0.5	8.4
	50%増肥	あさなぎ	135	112	60	139.1	88.0	0.0	8.0
		さざなみ	144	96	54	135.5	91.2	0.6	7.8

  

試 験 区			茎の太さ (mm)	1 m 茎重 (g/100本)	長 い 品 質			曇表の 品 質 (点)
					色 次	硬 軟	元 白	
網 掛	標準肥	あさなぎ	1.55	36.2	良	硬	少	89
		さざなみ	1.60	39.1	やや良	〃	〃	90
	25%増肥	あさなぎ	1.50	33.7	やや良	〃	〃	90
		さざなみ	1.62	39.3	やや良	〃	〃	90
	50%増肥	あさなぎ	1.52	34.8	やや良	〃	〃	90
		さざなみ	1.60	39.1	中	〃	〃	90
無 網 掛	標準肥	あさなぎ	1.56	35.2	中	〃	中	84
		さざなみ	1.63	38.9	やや良	〃	〃	86
	25%増肥	あさなぎ	1.51	34.2	やや良	〃	〃	85
		さざなみ	1.62	38.5	やや良	〃	〃	84
	50%増肥	あさなぎ	1.49	32.8	やや良	〃	〃	84
		さざなみ	1.59	36.9	中	〃	〃	84

(5) 地方適否試験の成績

県名	場所名	品種名	年次	茎長 (cm)	茎数 (本)	収量(kg/a)		茎の太さ (mm)		粒揃	長い 先歩	100本 当 1 m 茎重	長い引通 表製織長		a 当 製織長	
						乾茎重	長い重	2000 本当	1000 g当							
岡山	早島 い草 分場	あさなぎ	昭32	144	85	142.5	109.7	1.54	細	中	-	-	86.4	108.8	119.4	
			33	143	83	146.0	110.8	1.60	中細	中	9	36.4	89.4	103.9	115.1	
			34	146	69	164.0	119.0	1.61	中細	良	17	34.6	93.0	107.0	127.3	
			平均	144	79	150.8	113.2	1.58	細	—	13	35.5	89.6	106.6	120.6	
	岡山3号 (比較)	昭32	149	78	144.9	111.6	1.61	中細	中	—	—	97.0	107.2	119.6		
		33	147	77	139.8	108.8	1.62	中細	良	8	36.8	97.4	105.4	114.7		
		34	150	65	159.0	122.0	1.66	中細	良	14	40.0	99.4	105.3	128.5		
		平均	149	73	147.9	114.1	1.63	中細	—	11	38.4	97.9	106.0	120.9		
	福岡	筑後 分場	あさなぎ	昭32	138	81	113.3	79.8	1.61	中細	やや良	-	-	102.4	109.2	87.1
				33	127	94	120.0	63.7	1.55	細	良	18	38.5	95.0	111.2	70.8
平均				133	86	116.7	71.8	1.58	細	—	18	38.5	98.7	110.2	79.0	
大莞3号 (比較)		昭32	146	71	112.9	82.4	1.58	細	中	—	—	104.0	106.9	88.1		
		33	130	80	124.4	72.2	1.58	細	良	9	38.3	102.4	114.5	82.7		
		平均	138	76	118.7	77.3	1.58	細	—	9	38.3	103.2	110.7	85.4		
大莞3号 (比較)		昭32	135	83	110.4	68.8	1.67	中細	良	—	—	87.0	107.5	74.0		
		33	120	89	113.8	49.0	1.67	中細	良	2	35.8	81.2	106.4	52.1		
平均	128	86	112.1	58.9	1.67	中細	—	2	35.8	84.1	107.0	63.1				
熊本	農業経営 試験場	あさなぎ	昭33	137	157	129.1	81.5	1.54	細	良	13	37.5	94.1	107.5	87.6	
			34	137	107	112.6	78.8	1.53	細	良	18	39.2	81.4	108.4	85.4	
			平均	137	132	120.9	80.2	1.54	細	—	16	38.4	87.8	108.0	86.5	
		さざなみ (比較)	昭33	137	160	129.6	81.9	1.50	細	良	11	35.6	86.7	105.2	86.2	
			34	141	88	113.1	82.5	1.63	中細	良	27	35.6	88.1	106.8	88.1	
			平均	139	125	121.4	82.2	1.57	細	—	19	35.6	87.4	106.0	87.2	
富山	永見い草 試験地	あさなぎ	昭33	124	121	90.1	25.3	1.56	細	中	-	34.0	88.6	113.7	28.8	
			34	126	83	66.9	28.1	-	—	—	-	-	-	-	-	
			平均	125	102	78.5	26.7	1.56	細	—	-	34.0	88.6	113.7	28.8	
		小松在来 (比較)	昭33	120	88	85.0	16.6	1.76	中太	不良	-	47.9	124.8	120.3	20.0	
			34	130	79	60.0	27.8	-	—	—	-	-	-	-	-	
			平均	125	84	72.5	22.2	1.76	中太	—	-	47.9	124.8	120.3	20.0	

## (6) 広島県内主産地における試作成績

試験場所名	品種名	年次	茎長 (cm)	茎数 (本)	収量 (kg/a)			長い重率 (%)	品質				
					乾茎重	長い重	中短い重		茎の太さ (mm)	色 沢	硬軟	元白	
尾道市 美ノ郷町	あさなぎ	昭36	139	111	99.0	58.1	40.9	58.7	1.49	良	中	少	
		37	159	121	154.2	112.1	42.4	72.7	1.54	良	中	少	
		平均	149	116	126.6	85.1	41.7	65.7	1.52	—	—	—	
	さざなみ (比較)	昭36	139	102	91.0	58.0	44.0	63.7	1.61	良	中	少	
		37	163	106	160.6	124.2	36.4	77.3	1.61	良	中	少	
		平均	151	104	125.8	91.1	40.2	70.7	1.61	—	—	—	
	在来種 (比較)	昭36	139	94	101.0	67.7	33.5	66.9	1.62	やや良	中	少	
		37	162	90	145.5	109.1	36.4	75.0	1.56	良	中	少	
		平均	151	92	123.3	88.4	35.0	71.0	1.59	—	—	—	
	沼隈郡 沼隈町	あさなぎ	昭36	130	97	112.8	68.3	44.5	60.5	—	—	—	—
			37	143	147	—	—	—	—	1.57	中	中	中
			平均	137	122	112.8	68.3	44.5	60.5	1.57	—	—	—
さざなみ (比較)		昭36	145	100	113.5	73.8	39.7	65.0	—	—	—	—	
		37	146	100	—	—	—	—	1.72	やや良	中	中	
		平均	146	100	113.5	73.8	39.7	65.0	1.72	—	—	—	
在来種 (比較)		昭36	148	95	113.1	68.0	45.1	60.1	—	—	—	—	
		37	146	114	—	—	—	—	1.52	やや良	中	中	
		平均	147	105	113.1	68.0	45.1	60.1	1.52	—	—	—	
福山市 金江町		あさなぎ	昭36	148	80	131.3	78.8	52.5	60.0	1.46	やや良	中	少
		さざなみ		157	53	135.0	82.5	52.5	61.1	1.62	やや良	硬	少
		在来種		155	75	138.8	90.0	48.8	64.8	1.61	やや良	硬	少
芦品郡 芦田町	あさなぎ	昭36	152	79	131.5	98.0	33.5	74.5	1.56	やや良	中	少	
	さざなみ		147	88	131.0	94.0	37.0	71.8	1.70	やや良	硬	少	
	在来種		151	98	130.0	91.5	38.5	70.3	1.70	やや良	中	少	
福山市 藤江町	あさなぎ	昭37	—	—	102.6	58.1	44.5	56.6	1.58	中	中	少	
	さざなみ		—	—	104.2	66.1	38.1	63.4	1.69	中	中	少	
	在来種		—	—	111.2	67.6	43.6	60.8	1.58	中	中	少	
福山市 本郷町	あさなぎ	昭37	158	—	105.3	72.4	32.9	68.8	1.50	良	中	少	
	さざなみ		181	—	115.3	90.7	24.6	78.8	1.66	良	中	少	
	在来種		154	—	105.3	76.9	28.4	73.0	1.56	良	中	少	

## 6 命名の由来

曇表の品質の優秀さをあらわし、さも瀬戸内海の朝のようにすがすがしく、静かに落ち着いた感じを受けるという意味。

7 育成従事者

年次	試験場所	育成従事者		
昭25	農林省西条農事改良実験所瀬戸試験地	中野善雄	松沢正知	浜田四郎
26	広島農試東部支場	"	"	"
27		"	"	"
28		"	定平正吉	
29		"	"	
30		"	"	
31		"	"	
32		"	"	
33		"	"	
34		"	"	
35		"	大出春之	
36	"	"		
37	"	"		

## Summary

## Characteristics of a New Variety of Mat Rush Grass "Asanagi"

Yoshio NAKANO, Haruyuki ŌDE

and Masayoshi SADAHIRA

A new variety "Asanagi", which was called "Seto No. 4" in line generation, was bred up originally from a local variety cultivated in Kumamoto Prefecture by method of clone separation. On account of good quality and relatively high yield, it was registered as "Mat Rush Grass Norin No. 2" and named "Asanagi" in 1962.

At present, the area of "Asanagi" cultivation is spreading out mainly in Hiroshima, Okayama, Fukuoka and Kagawa Prefectures, and it is expanding gradually in some other prefectures.

This variety is characterized as one of so-called "tiller type", growing many tillers, namely the numbers of tiller increase greatly, but the elongation of stems is somewhat inferior.

The yield of this variety is lower than "Sazanami" and higher than "Seto No. 1". Besides, it has some desirable characters, such as uniform slender stems, little flowering and fine gloss of stems, which are very suitable to make rush grass mat named Tatami-facing of good quality.

This variety can be cultivated throughout whole rush growing districts in Japan, if the netting culture method is adopted. This method is practiced covering the growing stems with fiber net in early June to prevent lodging.

It is generally known that rush grass cultivation on the paddy field of poor drainage is inclined to bring thick stems. But this variety isn't.

In the cultivation of "Asanagi" shallow planting suppresses the elongation of stems, and too-much application of nitrogen fertilizers in the early stage of growth causes the tips of the stem to wither up. Then it is recommended to avoid these practices never to deteriorate them in quality.